

## 平成31年度外国人留学生修学援助希望者募集案内

一般財団法人 東北開発記念財団

### 1 目的

この事業は、宮城県内の大学に在学する外国人留学生に対し、修学に係る費用を援助することにより、学術の修得・研究を奨め、国際親善の促進に寄与することを目的としています。

### 2 申請資格

- (1) 宮城県内の大学に在学する外国人留学生で、大学院の次の課程・年次に在籍している人としてします。
  - ① 博士課程の後期課程の2年次以降最終年次まで
  - ② ~~医学、歯学系等の4年制の博士課程については、博士課程の3年次以降最終年次まで~~
  - ③ ~~修士課程のみ設置している大学については、修士課程の2年次以降最終年次まで(博士課程の前期課程を含みません。)~~
- (2) 在籍大学の指導教員の推薦を必要とします。
- (3) 学術の修得・研究に強い意欲を有し、修学のため経済的な援助を必要とする人としてします。
- (4) 本人または配偶者が、日本政府(文部科学省)による国費留学生でない人としてします。

### 3 募集人員

平成31年度募集人員 19名程度

### 4 援助の金額

援助の金額は、留学生1人につき、月額6万円(年額72万円)とします。

### 5 援助の期間

援助の期間は、毎年4月から翌年3月までの1年間以内とします。

### 6 援助の継続

- (1) 同一の人が、この援助を継続(断続する場合を含みます)して受けることができる期間(継続期間)は、2年間を限度とします。
- (2) 援助は1年ごとに決定しており、援助の継続を希望する場合は、翌年以降、改めて申請を行う必要があります。なお、継続の申請であっても、援助が自動的に継続される

ことはなく、毎年新たに決定されます。

## 7 他の援助との関係

他の団体から奨学金・生活補助等の援助を受けている留学生であっても、本人または配偶者が国費留学生でない限り、他の給付と併せて、この援助に応募することができます。ただし、本財団が行っている海外派遣援助とこの援助を、同一年度に併せて受けることはできません。

## 8 申請手続き

援助を希望する留学生は、申請書類を整えたうえ、原則として在籍大学を通じ、所定の期日までに本財団に提出してください。

なお、申請書類の提出にあたっては、提出書類がすべて整っていること、記載事項に漏れがないことを必ず確認してください。

## 9 提出書類

援助の申請にあたって提出する書類は、次のとおりです。提出部数はそれぞれ1部です。

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| (1) 外国人留学生修学援助金交付申請書 | 別紙A様式第1号 |
| (2) 身上書              | 別紙A様式第2号 |
| (3) 指導教員の推薦書         | 別紙A様式第3号 |
| (4) 研究計画書            | 別紙A様式第4号 |
| (5) 在籍証明書            |          |

## 10 提出期限および提出先

- ~~(1) 本財団への提出期限~~  
~~平成31年4月30日(火) 必着~~

- ~~(2) 提出先~~

~~〒980-0811~~

~~仙台市青葉区一番町四丁目1番25号(東三番丁スクエア4階)~~

~~一般財団法人 東北開発記念財団~~

~~Tel. 022-211-0493~~

※ 教務係 締切

4/15(月) 12:30

時間・期限厳守

## 11 選考および決定

(1) 本財団は、提出された申請書類に基づいて審査を行い、援助の対象となる留学生を選考し(面接を行うことがあります)、決定します。

(2) 決定の結果は、本人および在籍大学の長または所属の長あてに通知します。

通知の時期は、概ね平成31年6月上旬の予定です。

## 12 選考基準

# 提出書類作成要領

援助金の交付を申請する場合は申請書類を、また援助期間の終了時には報告書を、それぞれ本財団に提出することになっております。これらの提出書類を作成するにあたっては、次のことに留意して下さい。

- (1) 申請書類は、すべて整え、記載事項に洩れがないことを必ず確認する。
- (2) 報告書は、提出期限に遅れないように作成する。
- (3) これらの提出書類は、特別の理由がない限り、日本語で明瞭に記載する。

次に、申請書・計画書・報告書を作成するにあたっての留意事項、記載方法を掲げますので、これを参考として、提出書類を作成して下さい。

## ○外国人留学生修学援助金交付申請書、身上書

### 1 一般的留意事項

- (1) 申請書は基本となる書類ですから、記載事項を洩れなく、正確かつ明瞭に記載して下さい。
- (2) 書き終わったら、脱字・誤字がないか、他の文字・数字と見誤ることがないかを確認して下さい。

### 2 事項別記入要領

#### (1) 新規の申請、継続の申請

いずれか該当する方を ○ で囲み、継続の申請の場合は、本財団から援助を受けた年度を( )内に記入して下さい。(例えば、平成21年度にこの援助を受けた場合は、( )内に「平21」と記載します)

#### (2) 氏名

氏名は、カタカナ、ローマ字、母国語で、それぞれ正確かつ明瞭に書いて下さい。カタカナ、ローマ字は、できる限り、母国語の読み方で書いて下さい。またローマ字欄は、英字またはローマ字化して記載して下さい。

#### (3) 所属

大学院学生の所属、専攻、課程、年次の内容が分かるように記載して下さい。

#### (4) 在籍大学における進学の課程と将来の計画

現在の在籍大学におけるこれまでの進学の課程を含め、今後進む予定の課程の専攻、所要期間を記入して下さい。

宮城県外の大学の課程に進む予定である場合は、記入する必要がありません。

#### (5) 援助金交付の際の振込先

口座名義人欄は、銀行に届け出ているカナ氏名を正確に書いてください。

## ○研究計画書

### 1 一般的留意事項

計画書は、大学で留学生が専攻する研究について、その研究の対象・内容・方法・進め方等が分かるように、できるだけ具体的にかつ簡潔に記載して下さい。

### 2 事項別記入要領

#### (1)研究の課題

研究の内容を適切かつ簡潔に表現する題目を記載します。主題だけで内容の要約が充分でない場合は、副題をつけても差し支えありません。

#### (2)研究の目的

研究の趣旨、目的について記載して下さい。

#### (3)研究の概要

研究の全体構想、その主な内容と期待される成果等について記載して下さい。

#### (4)研究の具体的な内容、方法、進め方(主なスケジュール)

本年度に行う研究の対象・内容・方法(実験、実態調査、文献調査等)・場所・時期・期間等について、できる限り具体的にかつ簡潔に記載して下さい。

## ○報 告 書

### 1 一般的留意事項

報告書は、申請時には必要ありません。

援助対象者は本財団の援助期間終了後、本年度の学修・研究の実績等について、その内容が分かるように、できるだけ具体的にかつ簡潔に記載して下さい。

### 2 事項別記入要領

#### (1)学修、研究の概要と成果

本年度に実際に行った学修、研究の内容の概要と成果について記載します。計画と異なっても、実行したものについて記載して下さい。

#### (2)今後の研究計画

計画の継続、新規の計画等について簡潔に記載して下さい。

以 上